

2014年3月26日

デルタ航空、ボーイング 747-400 型機に最初の国際線機内インターネットサービスを導入

本日のロサンゼルス発成田行き便とアトランタ発成田行き便から利用可能に

【米国アトランタ、2014年3月25日／東京、3月26日】 – デルタ航空(NYSE: DAL)は本日、国際線での Wi-Fi インターネットサービスを開始しました。高い帯域幅を持つ(Ku バンド)通信衛星を使用した Wi-Fi インターネットサービスは、ボーイング 747-400 型機に搭載され、本日のロサンゼルス発成田行き 283 便およびアトランタ発成田行き 295 便で運航を開始しました。米国国内線では 5 年以上前から機内 Wi-Fi サービスを提供していますが、国際線のサービスは本日開始となります。

16 機あるボーイング 747 型機のうち 3 機が、既にインターネット設備の導入を完了しています。同機材で運航される路線は、デトロイトー成田、デトロイトー名古屋、デトロイトーソウル(仁川)、ニューヨーク(JFK)ー成田、ニューヨークーテルアビブ、成田ーマニラ、成田ー台北、名古屋ーマニラです。

Wi-Fi 搭載機をご利用のお客様には、サービス開始を記念して特別料金を提供しています。パーソナルコンピューター用アクセスは 1 時間 14 ドルから、携帯電子機器用アクセス 1 時間 8 ドルから、フライト中ネットが利用できるフライトパスは、コンピューター用 24 ドル 95 セントから、携帯電子機器用 14 ドル 95 セントからご利用いただけます。747-400 型機全 16 機への Wi-Fi 搭載は、夏までに完了する予定です。

現在、サービス提供社である米 Gogo 社(ゴゴ社)と共に、エアバス 330 型機での最終運用試験を進めており、2015 年末までに、すべての長距離国際線用の機材(ボーイング 777 型機、767 型機、747 型機、エアバス 330 型機)および短・中距離用国際線用の機材(ボーイング 757 型機)、計 150 機以上に Wi-Fi 設備の搭載を完了する予定です。国際線用機材 150 機以上が加わると、デルタ航空便の Wi-Fi 対応機材は、計 1,000 機を越えます。

国際線での Wi-Fi インターネットサービスは、高い帯域幅を持つ(Ku バンド)通信衛星を使用し、米国内では従来通り地上と飛行機を結ぶ方式(air-to-ground)にてサービスを展開します。

デルタ航空マーケティング担当上級副社長、ティム・メイプス(Tim Mapes)は次のように述べています。「お客様は機内でも“生産的”でありたいと思っています、それはアメリカの国境を越えても変わりません。国際線へのインターネットサービス拡大は、カスタマーエクスペリエンス改善のための投資の一環であり、まさにお客様が欲しいと思うサービスを提供するものです。」

デルタ航空は世界最大の Wi-Fi 搭載機材を運航しています。米国内幹線用の 570 機、一日 3,400 便以上のフライトで機内インターネットを提供し、ローカル線を運航するデルタ・コネクション機材を含めると全 870 機にて一日 40 万人以上のお客様に高度 1 万フィート以上の上空でインターネットサービスを提供しています。

今回の発表は、デルタ航空がお客様の期待以上のサービスを提供することにおいて、業界をリードしていることを改めて示すものです。これまでも、米国航空会社の中で初めて、高度 1 万フィート未満の機内で小型電子機器を利用できるようにし、アウトドアの「スカイデッキ」をニューヨークとアトランタの空港ラウンジに設置しました。また、米国内航空会社の中で唯一、全ての国際線長距離路線の全座席にオンデマンド型個人用機内エンターテインメントシステムと、ビジネスクラスに全席通路側のフルフラットベッドシートを導入しており、今夏までに完了します。(日本発着米国・アジア路線は昨年夏に完了しています。)

デルタ航空では、2010 年以降、総額数十億ドルを投じてカスタマーエクスペリエンスの向上を図っています。その中には、全ての国際線用ワイドボディ機材へのフルフラットベッドシートの導入、ニューヨーク JFK 空港の第 4 ターミナル拡張、アトランタ空港の新国際線ターミナル建設、ニューヨークのラ・ガーディア空港のターミナル C および D の改装・拡張、世界

中に 50 箇所以上ある空港ラウンジ「デルタ スカイクラブ」の新設または改装、空港ロビーへの充電ステーションの増設、受託手荷物追跡機能等がついたモバイルアプリケーションの導入などが含まれます。

デルタ航空について

デルタ航空は年間 1 億 6,000 万人以上の搭乗者数と広範なネットワークを持つ航空会社です。デルタ航空はフォーチュン誌の「2013 年世界で最も賞賛される企業リスト」の航空業界部門(2013 World's Most Admired Companies Airline Industry List)において、1 位を獲得しました。デルタ航空がこの賞を受賞するのは、この 3 年で 2 度目です。デルタ航空およびデルタ・コネクションは、世界 58 カ国、315 都市に向けてフライトを運航しています。米国ジョージア州アトランタに本社を置き、世界で約 8 万人の従業員を擁し、700 機以上の主要機材を運航しています。また、航空連合(アライアンス)「スカイチーム」の創立メンバーとして、大西洋路線においてエールフランス-KLM、アリタリア-イタリア航空とともに、共同事業を展開しています。アトランタ、シンシナティ、デトロイト、ミネアポリス/セントポール、ニューヨーク(ラ・ガーディアおよび JFK)、ソルトレイクシティ、パリ(シャルルドゴール)、アムステルダム、東京(成田)をハブ空港とし、提携航空会社と合わせて一日に 1 万 5,000 便以上のフライトを運航しています。現在、総額 30 億ドルを投じて空港施設やプロダクト、空港および機内での顧客サービス向上とテクノロジー導入を進めています。詳しくはホームページ delta.com をご覧ください。

<報道関係者お問い合わせ先>

デルタ航空太平洋地区広報部

e-mail: corpcommjapan@delta.com

日本語ニュースルーム <http://delta.jp.mediaroom.com/>